

# シンポジウム：京都アニメーションの火災を考える～建築防災の視点から～

主催 日本建築学会 近畿支部 防災計画部会 共催 京都大学防災研究所

後援(予定) 日本火災学会、日本建築センター、日本建築総合試験所、日本防火技術者協会

日本建築協会、近畿建築士会協議会、大阪建設業協会、日本建築構造技術者協会関西支部、日本建築材料協会  
日本建設業連合会関西支部、大阪電業協会、日本建築家協会近畿支部および京都地域会、

日本建築士事務所協会連合会近畿ブロック協議会、関西建築構造設計事務所協会、建築設備技術者協会近畿支部  
大阪府設備設計事務所協会、日本建築積算協会関西支部、大阪空気調和衛生工業協会

2019年7月18日に京都アニメーション第一スタジオで発生した火災は、建物内にいた関係者70名において死者36名・負傷者33名という甚大な被害をもたらしました。1階から3階に続く吹き抜け内のらせん階段の下部にガソリンが撒かれて放火されたことにより、らせん階段ともう1つの屋内階段を通って煙が上階に急速に拡散し、在館者の避難を困難にしたと推測されています。

日本建築学会近畿支部防災計画部会では、本火災から何を学び今後の教訓とすべきかについて、建築防災の視点から議論を行ってきました。本シンポジウムでは、公表されている様々な情報を総合的に整理し、何が起きたのかを解釈し、放火火災だけでなく通常の火災も含めて、火災に対する安全確保のあり方を建築防災の視点から議論することを目的とします。奮ってご参加ください。

日時：2020年7月17日（金） 14:00～17:00

会場：遠隔通信による開催：13:30よりアクセス可能

参加費：無料（申込み必要）

申込方法：下記によりメールでお申込み下さい（申し込み順先着75名）。具体的な参加方法については、お申し込み受付後にメールで連絡を差し上げます。

メール表題：防災計画部会シンポジウム申し込み

申込先：日本建築学会近畿支部事務局 [aij-kinki@kfd.biglobe.ne.jp](mailto:aij-kinki@kfd.biglobe.ne.jp)

本文：ご氏名

ご所属

会員種別（会員番号もしくは会員外）

本企画へのご意見・ご要望：（自由記述）総合討論で取り上げることもあります。

## プログラム

司会：原田和典（京都大学）

1. 主旨説明：原田和典（前誌）

2. 火災の概要

火災性状および煙流動：仁井大策（京都大学）

避難行動および消火救助活動：秋月有紀（富山大学）

3. 関連する過去の火災事例：長野誠（日本建築総合試験所）

4. 発注者支援技術としての堅穴区画：

増渕昌利（増渕昌利建築安全研究所）

5. 堅穴の区画化による火災リスクの制御：

西野智研（京都大学防災研究所）

6. 京都市の取組み

命を守る建物にする心得集：

岡田圭司（京都市都市計画局）

火災から命を守る避難の指針：

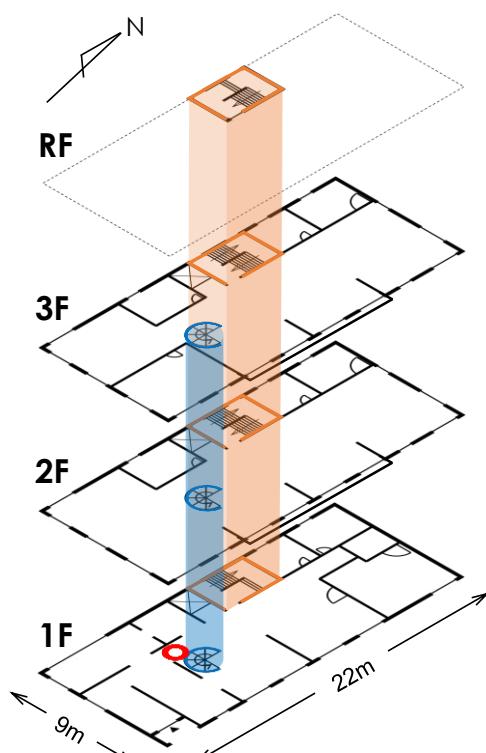
小谷純也、吉田秀之（京都市消防局）

7. 総合討論

コメンテーター（予定）：水野雅之（東京理科大学）

久次米真美子（日建設計）

8. 安全確保のための提言：原田和典（前誌）



最新の情報はHPでご確認ください。

<http://kinki.aij.or.jp/activity/dppr/index.html>

